

邑の映画会 第9回の感想

《おとなが見まもる 子どものまなざし》

原田さん「数ある映画の中から小人から大人まで感動出来た物を選んでいただきました。小人達の感性にありがたく思います」

田中さん「『ドタバタ撮影所』が気に入りました。とても面白かったので、また見に来たいです。」

青鹿さん「よかったです。関東学園大学付属高校の宮城先生の紹介でこの会を知りましたが、みてよかったです。」

田中さん「貴重なフィルムを観せて頂いて、本当にありがとうございます。私は『くつやとこびと』の製作にかかった時間、作った人々の気持ちを想って、あたたかい感動をおぼえました。『雌牛』は映像の美しさに驚きました。『ドタバタ撮影所』は子供と一緒に大笑いですね。

選んでくれた皆さん、上映のために大変な仕事をしてくれた皆さんどうもありがとうございます。『道』は20年ぶりに見ました。今、家族と共に見られて良かったです。」

山本さん「子供向けにしようと思うと、字幕がある作品などは、ためらいが出てしまいますが、この「邑の映画会」は、そういうこだわりがなく、ただ、良い作品という選定しているのがよいと思います。「ドタバタ撮影所」は、活弁士さんがついても面白かったかと思いました。良くぞ9回やりました！来年は10回のメモリアル。がんばって！！」

竹内さん「今回もよい映画を観ることができました。ありがとうございました。何か今忘れてしまっている感情を思い出させてくれたような映画でした。来年が今から楽しみです。スタッフの方がすばらしいです。」

栗原さん「初めて参加しました。いいですね。すばらしいです。来年も参加します。」

渋井さん「構成、出席者、スタッフ共、よく頑張っていました。将来を予測したような（問題点も）」

木暮さん「今年も又、晩秋の1日を楽しませていただきました。特にアニメは5本とも始めて見る作品でした。とても新鮮でした。フェリーニの「道」はもう半世紀も前に見たシーンがとぎれとぎれに思い出します。「痛切と哀切」が若いときは痛切が深いのかなと思っていましたが、最近は哀切も悪くないと思う様になってきました。」

小野さん「孫と映画をみて、共有できたことが幸せ。」

赤坂さん「9回開催おめでとうございます。楽しみに参りました。アニメーション作品の選択が絶妙です。雌牛、トゥ・リアンの心にしみる少々重いテーマの美しい作品のあとのドタバタお腹から笑いました。小栗監督のお話は少し難しかったですが心に響きました。久々の道やはり泣いてしまいました。心の深いところに届くから涙がでてしまうのですね。映画もそして生きることも祈りなのだとしみじみ思います。ありがとうございました。前田真三氏の写真展の時に監督さんの映像が思い浮かびました。日曜美術館も拝見しました。監督さんを想うことの多いこのごろでした。DVDはすぐに買い求めてしまいました。」

野木村さん「前半のアニメ作品素朴な手作りの心温まる映像をなつかしく拝見しました。世界にほこる日本のアニメ最新の描写技術には舌を巻きます。より写実に近くなった今、人間的なぬくもりが失われたような気がしました。小栗監督の講演いつもながらの味わい深い話しぶりに聴き入りました。そして劇映画「道」フェリーニ監督がマシーナのために作った映画、哀愁を帯びた演出が何度見ても魅力的です。新藤兼人監督が乙羽信子さんのために作った「午後の遺言状」を思い起させてくれるものがありました。よい映画ありがた

うございました。」

大川さん「『雌牛』本物以上に写実性のある深味のある美しい映像、光と影、人間の表と裏、少年の眼差しなどもう一度観てみたい作品です。心の奥底にとどきます。「トゥ・リアン」創造する女神の眼差し、移り変わる映像にワクワクドキドキキメキメ、神を忘れた人間、破滅へとつながる、そしてめざめ復活、希望、現代に対するメッセージとおもいました。「道」聖女なんとも愛らしいまっすぐなジェルソミーナ、全編に流れるもの哀しさ、人間のどうしようもなき愛しさ、それでも人はせいっぱい生きていく。石ころだってなんでも役に立つ。トランペットの音色が心にしみました。知るは神のみ。「映画は祈り」小栗監督、スタッフ（大人・子供）の皆さまありがとうございます。」

鈴木さん「楽しくて考えさせられる映画でした。また、来年も見に来たいです。お疲れ様でした。」

根岸さん「今までこのような映画（トゥリアン）を見たことがなかったので、こういう映画があるのかと認識を新たにしました。ドタバタ撮影所・・・これも面白いね。」

桑原さん「映画はやっぱすばらしい。年齢を重ねて、すぐれた作品は何度観ても新しい感じ方、わかり方ができて、それからうれしくて楽しい。今年、思いがけない病を立ち直れたのも映画のおかげでした。一生、映画から学んで生きる力にしたい。町長さん、小栗監督、実行委員会の方、ホントウにありがとうございます。私も自分の暮らしの中で、出来ることをしていきます。」

松井さん「『道』最高でした。ニーノ・ロータの音楽を聴くだけで涙が出てきます。アニメの方も特に『雌牛』は衝撃的でした。こんな感動するアニメは初めてです。来年も楽しみにしています。」

齋藤さん「すべてよかったが『雌牛』の映像表現に生きるを考えさせられた。『道』では、人間の生きるはみにくいけど生き続ければ良いこともあるさと教えられた。監督と会長のこの会への情熱に感激」

木村さん「それぞれよかったが、「道」はとても素晴らしい！会長をはじめスタッフの皆さん有り難うございました。」

桑原さん「昨年始めて観させてもらいました。8年も前からやっていたと驚きました。子ども達によい映画を手作りでみせている大変よかった。小栗さんの講演も大変良かったです。」

降旗さん「前半のアニメとても良かったです。『ホームマイホーム』音楽と詞がかわいらしく、出てくるものもていねいな手作りのものがあたたかかったです。

『くつやのこびと』おばあさんの人形の表情がとてもいいです。2人の想いが届いたのは、うれしく、けれど、このお話を読むたびに思うのですが、こびとって着るものをあげるとそれでお別れになっちゃうんですよね（たしかハリポッターでも似たようなことが出てきたような？）日本的には「その後仲良く暮らしました」になってほしいと切なくもなり、みんなで、その後も幸せになりますように。『雌牛』はとても美しく哀しいまた観たいです。『トゥ・リアン』人間はわがままになってしまったけれどこの作品に関しては神さまにも少し責任があるような。正しく愛されて豊かに子どもたちが育ちますように。『ドタバタ撮影所』今ではCGなどでなければこの映像は見られないのではないのでしょうか。動物たちの演技もすばらしかったです。小栗監督のお話とても良かったです！！ FOUJITA、楽しみにしています！！」

橋本さん「とても良かった」

増淵さん「初めて参加しましたが、こんなにも大勢の

人が来ているのに驚かされました。また、来たいです。」

田中さん「この雰囲気、環境で見ると作品の見え方、感じ方も変わることが分かりました。皆さんの情熱で作りに上げられているところがすごいと感動します。貴重な機会だと思いました。」

・「雌牛、トゥ・リアン、絶妙なタイミングでの上映であったと感じました。残り少ない時間の中で、一人一人が多くを気づいていける貴重な機会でした。委員会の皆様有難うございました。」

・「チラシ、広告等、費用がだいぶかかっていますね。子供たちに夢をとの事、でも子供の観客は少ないです。教育等の各方面からの後援を持てるようですが、各学校での会はできないのでしょうか。この会の本来の支持者は？営利目的でないのなら子供たちに見せて欲しいです。老人ばかりの会でした。この開催日程も11/3祝日は父母、児童を呼び込めないのでは？講演の時間、長すぎ。エコーで聞きにくかったです。」

・「今回、初めて来させてもらいましたが、すばらしい会だと思いました。長く続く会になるよう、これからもがんばっていただきたいと思います。」

・「どれも良かったです。ありがとうございました。」
・「相変わらず小栗監督の講演は映画同様難解ですね。もう少し素人にも分かり易くお願いします。短編アニメーション映画は、毎回質が高く美しく感動的です。学生さん達のお手伝い、いつもありがとうございます。少しゆっくり話すと聞き取りやすいと思います。」

・「今年もお元氣な監督が見られて良かったです。映画が間に合わず「雌牛」がみたかったです。また、機会があったらぜひお願いします。」

・「『道』は何度も見ていましたが、大きな画面でみて、改めて気付いたことがたくさんありました。小栗監督

の表現は「祈り」というお話、安易な表現に流されてはいけないと思いました。」

・「小栗監督のお話はマイクの通りもわるく、耳もわるく、頭もわるく、あまり残らなかった。あいさつのお3人はこの会への思いが強く感じられ好感が持てました」

・「今回、子ども共々楽しく観させていただきました。」

・「受付会場などで、子ども達の一生懸命な姿が印象的でした。作品選びから参加していて、みんなでガンバって作り上げた映画会だと感心しました。」

・「『めうし』ミョスタコーヴィチの音楽が映像をいっそう深いものになっている。体制がどう変わろうとシベリアはシベリアであり続けるのだ。」

・「考えさせられるいい映画でした。このような貴重な古いよき映画を見る機会を作っていただきまして、本当にありがとうございました。これからも楽しみにしております。ありがとうございます。がんばって下さい。活動している子供たちもえらいですね。がんばって下さい。」

・「毎年楽しみにしています。特に今回は大好きな『道』を観ることが出来、大満足です。イタリア映画は名作が多いので、是非他の作品も上映して頂きたいと思います。短編では『雌牛』が心に残りました。」

・「シネマパラダイスをおもいだしました」

・「ショートショートのお話が、とても工夫を凝らし、ていねいに作られていて楽しかったです。短いので小さなお子さんでも、あきないで見られると思います。ほのぼのした感じで好きですね。見る側の子供たちが少ないのがもったいなかったと思います。」

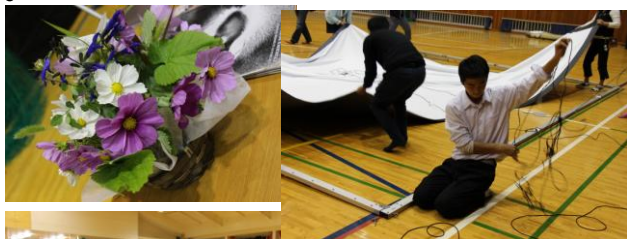
・「無声でも楽しく拝見できました。ドタバタ・・・では声を出して笑ってしまいました。」

・「親子でたのしく見させていただきました」

・「フラッシュで写真撮影は禁止にしてほしい。会場がとても良い。前で寝ながら見られるのもすばらしい。ホールになってほしくないと思う。ケイタイのメールもやっている人がいました。迷惑行為ですね。」

感想を寄せてくださったたくさんみなさま、ありがとうございました。これからも映画を子どもにとどけましょう。

● 昨年の風景 えいがも えがおもいっぱい



「スクリーン立てまへず
スタッフ集合！」



「ごさがいいいね。」 「体育館がいいよね。」



夢と希望が満ちている 子どもスタッフのまなざしに



大きなスクリーンと手作りの会場で、いつも見ている映画や画像とちょっと違う、素敵な映画をみんなで見よう。昔の映画、国内外の映画、貴重な映画・・・事前から試写を見たり準備をしたりの実行委員になってもよし、当日、来てみて実行委員になるもよし。映画会でお友達になった子もいるよ。みんな、楽しんでね。

- 実行委員 新井幸子 新井正一 糸井徹 遠藤牧子
大川玉枝 大久保純夫 大塚初代 大畠聡 岡田悦代 小熊良雄 小倉章利 加藤あや 加藤一枝 上遠野良一 苅部松代 川島功 木村信洋 栗原知子 紺野尋子 坂本順子 坂本文江 櫻井ちあき 塩井早苗 島田えり子 須藤のり子 諏訪百合子 関谷京子 高橋正明 竹内威夫 竹内美斗利 田部井三枝子 田村実 对比地知子 富田豊子 中繁キミ子 中谷和子 永本浩之 長谷川カツ江 長谷川玲子 濱田光恵 廣越恭子 藤井雅路 降旗りの 松井ひろか 宮城英子 茂木一夫 森和男 森田義雄 安富光子 安富耕二

- 顧問 映画監督 小栗 康平